

第21回 橿原市総合政策審議会

日時：令和8年8月3日（月）午後1時30分～

場所：大和信用金庫八木支店3階 第3・第4会議室

出席者

- 委員：久会長、佐伯副会長、大城委員、堀部委員、前川委員、梶谷委員、東(博)委員、山本(邦)委員、山本(恒)委員、中村委員、中谷委員、原委員、東(晋)委員、平岡委員、増田委員
- 事務局：若森企画戦略部長、芦高財務部長、木南企画戦略部副部長、長谷川企画政策課長、森島企画政策課長補佐、大西係長、伊藤係長、藤川主査、大東主査

1. 開会

2. 議事

・令和7年度橿原市第4次総合計画前期基本計画進行管理及び第2期橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証報告書(案)について

事務局

それではただいまから議事に入ります。ここからは会長に進行をお願いしたいと存じます。久会長よろしくお願いいたします。

久会長

それでは、議事を進めてまいります。

1つ目の議事に入ります。今まで部会で時間をかけて評価を行ってきましたので、その取りまとめという形で進めさせていただきます。「令和7年度橿原市第4次総合計画前期基本計画進行管理及び第2期橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証報告書(案)について」事務局から、ご説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございます。施策評価シートについて、審議会からの提言等については評価部会後に初めて加えられた部分ですので、自らのご発言等を確認していただければと思います。総合戦略は個別に記載いただいておりますが、審議会全体としてはとりまとめたわけではなく、委員の皆様それぞれからいただいた評価をまとめた形になっておりますので、他の委員の意見を聞いて評価を変更・修正する場合は、後日でも結構ですし、この後お話しいただく時間もありますので、そこでお伝えいただければと思います。

ただいまのご説明について、ご質問やご意見はありますでしょうか。では、原委員をお願いします。

原委員

審議会からの提言等を踏まえてかなりの部分を修正いただきました。一部修正しないという説明もありましたが、提言の中には「修正を検討されたい」という表現をしているが、既に修正済みであるものもあります。この修正の有無が、一見しただけで分からないのではないのでしょうか。

久会長

提言に基づいてすでに修正している部分があるので、齟齬を起こしているのではないか、という質問です。事務局いかがでしょうか。

事務局

一覧のようにひと目でわかるものではありませんので、今後、わかる形で委員の皆様にお伝えさせていただこうと考えております。

原委員

私たち委員は話を聞いているのでわかるのですが、公表された際、担当課はきちんと記載しているのに、提言では修正を検討するように言っている、というように矛盾が生じていることになります。ですので、「対応済み」や、「こういう理由で未対応」とか、記載されていると分かりやすいと思いました。

事務局

ありがとうございます。検討させていただきます。

久会長

施策評価シートをもう一度ご確認いただき、修正されているものについては、事務局判断で削除していただくのもいいと思いますので、よろしくお願いします。

他いかがでしょうか。中村委員お願いします。

中村委員

原委員の意見と関連しますが、企画政策課では各課へ修正を依頼されているものの、対応されない課もあるのでとえています。昨年も同様ですが、例えば、課題は多くあると思われるのに、課題を書き入れていない、今後の方針でこれを反映してほしいと伝えても修正しない、等あります。特に世界遺産関係は伝えているが、課が修正しないのではないかと思います。どうでしょうか。

事務局

課の方には具体的な記載という形で修正を伝えておりますが、簡潔に記載させていただきたいという意見もございまして、施策評価シートの記載の通りにとどまっております。

中村委員

先ほどもありましたように、公表されるということもあり、我々は評価部会で提言を行っています。特に大事なところが抜けているように感じますので、対処いただけるように要望いたします。

久会長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

では、私からの確認なのですが、先ほどの総合戦略の説明の中で、資料 1-2 の P.57 の数値に変更があったという点です。観光入込客数の数値が一桁違ったということなのですが、これを見落と

していたのは評価をする観点からは大問題だと思いますが、ここは担当課から何かお聞きになっておられますか？

事務局

ありがとうございます。こちらは確認がきっちりできておらず、修正前は①観光消費総額、②観光入込客数がどちらも同じ数字でしたが、転記ミスでして、修正させていただきました。

久会長

担当課が評価をしている際は、②観光入込客数 539 万人ということを意識しながら評価したという認識でよろしいですね。1 桁違うという点は気になりましたので確認させていただきました。他いかがでしょうか。

それでは、原委員のご指摘の部分は、事務局でもう一度修正後の施策評価シートの提言を確認していただいて、変更するところあればお願いします。また先ほど、中村委員のご指摘は、今後、きちんと業務を進めてほしいということを含めて、担当課に厳しく伝えていただければと思います。以上、修正次第お見せいただいて、市長への提言としてまとめていきたいと思っています。よろしくお願いします。

・橿原市第 4 次総合計画後期基本計画 施策評価シート(案)について

久会長

それでは続きまして、「橿原市第 4 次総合計画後期基本計画 施策評価シート(案)について」です。今まで評価してきましたのが前期基本計画であり、これからご説明いただくのは後期基本計画となりますので、基本計画の内容も変わりますが、前期の施策評価シートの書きぶりも検討材料に、より分かりやすい評価ができる形で、今事務局に考えていただいております。それでは、まずは事務局に施策評価シート案についてご説明いただければと思います。よろしくお願いします。

事務局

(資料説明)

久会長

まだたたき台の段階かと思いますが、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。前川委員、どうぞ。

前川委員

取組状況効果検証で、KPI をグラフ化して示していただいております、評価する上で参考にさせていただいているのですが、そのようにグラフをこの施策評価シートに記載できないでしょうか。グラフがあって、実務担当者の目線と、外部からの評価を併せて考えるのが、やりやすい方法なのではないかと思います。

久会長

ありがとうございます。実は、生駒市の施策評価シートは KPI がグラフ化して載せてあります。そうすると、前川委員がおっしゃったように、何年後に目標値に到達するかがとてもわかりやすく表現できますので、グラフ化をして、お示しをいただくのもいいと思います。おそらくスペースとしては変わらないかと思うので、工夫をお願いします。グラフを見るだけで、伸びが止まっている、急激に伸びている、というような評価が一目でわかるようになりますので、ビジュアル的にもいいと思いました。その他いかがでしょうか。

それでは、微修正し、来年度評価が始まる前にお示しいただいて、最終調整をしていただければと思います。

また、私は事前に担当課へ、こういう書きぶりをお願いします、という研修会をさせていただいていますが、今までは個別の書きぶりのお願いにとどまっていました。しかし、今年度の施策評価シートを見ていて、来年度は全体を通した書きぶりのお願いもしておきたいと思います。というのも、効果のあった事業を5つ記載する欄がありますが、5つ全部埋めてくる課がほとんどです。おそらく欄が4つになれば4つ埋めてくると思いますが、大きな成果も小さな成果も両方書いてしまうところがあるので、メリハリをつけてPRしたい大きな成果のみを書き書いていただきたいと思います。

課題としても、小さな課題は自分たちで考えていただくとして、残っている大きな課題を示していただいて、成果も課題も大きなものをしっかりと書いていただくと、メリハリがついた評価となり、我々も読んでいてわかりやすいかと思うので、私も担当課へのお願いの仕方を変えていきたいなと思っています。

できるだけ、皆さんにもわかりやすい、読んでいて納得できる施策評価シートにしていければと思います。私のほうでも工夫させていただきます。

・令和9年度榎原市総合政策審議会スケジュール(案)について

久会長

それでは続いて「令和9年度榎原市総合政策審議会スケジュール(案)について」事務局からご説明をお願いいたします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございました。例年通りということですが、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。では、このスケジュール通りに進めてもらいたいと思います。

それでは、本日予定していました議事は終了しましたが、審議会全体を通してのご意見やご質問はございますか。先ほど、中村委員から悲願の世界遺産登録が無事なされたということで、来年度からはそれをいかに活用していくか、という年に入ることになると思いますが、そういった個別具体的な話についても、なにか質問等ございますか。平岡委員、どうぞ。

平岡委員

榎原市はストリートファイターを推していますが、近鉄電車が四神の電車を走らせ、そこから降りたらストリートファイターが登場するというのは、どうなのだろうと思いながらニュースを見えています。藤原京周辺には秋に向けて多くの観光客が訪れますが、簡易トイレが転がった状態で置いてあります。整備はどのように行われるのかと思っていますが、そういった事項が載っていないので非常に気になっています。

久会長

評価部会の中でも中村委員からそういったことを含めて、実施すべきことが実行されていないのではないかと厳しいご指摘をいただきました。本日、平岡委員からもなぜなのか、ということでご意見をいただきましたが、担当課でないのかわからないこともあると思いますが、いかがでしょうか？

事務局

具体的に、何を行います、というところについてはわからないのですが、ただ世界遺産に登録され

たことによって、今後観光客が来訪することは想定済みではありますので、早急に進めていきます、と担当課からはお答えをいただいております。

久会長

よろしくお願いします。中谷委員、どうぞ。

中谷委員

中村委員から、企画政策課から各部へ回答をお願いしているはずだけれども、回答が返ってきていないのでは、という質問がありました。私も観光協会で、役職をいただいておりますので、協会自身も前を向いて動かないといけない部分が多々あります。中村委員のおっしゃったことが事実であるならば、真摯に受け止めていただいて、速度感をもって進めていただきたいです。せっかくこのような立派なことを実施しているのにもかかわらず、紙面上で終わってしまえば、実体的な効力がないということになります。提案されたもの、注意されたものは謙虚に提出し、それを監査する部署があるのかは分かりませんが、それを実践されているのかまでやっていかないといけないのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

久会長

はい、ありがとうございます。私自身も世界遺産に登録された地域でお仕事をさせていただいておりますが、登録されただけでは上手いかず、その後どう活用していくのが重要です。橿原市も千載一遇のチャンスですので、頑張ってくださいと思います。本日は近鉄から山本委員が来ていただいております。京都はたくさんの観光客が訪れていて、奈良も一定の観光客が訪れており、それを繋げているのが近鉄電車だと思います。歴史をたどると、まずは橿原に都があり、奈良、京都へ移ったわけですから、外国人観光客を含め、古都の繋がりを上手く生かしながら、京都・奈良に来ていただいている方をさらに橿原明日香まで引き入れる方法を、近鉄を含めて連携しながら進めていただければと期待しております。

ほか、いかがでしょうか。

事務局

いろいろなご質問ありがとうございます。ストリートファイターの件だったり、世界遺産登録の問題について、これからどうするのかというところだったり、多く質問をいただいているところです。

まず、ストリートファイターを活用したまちづくりという点です。もともと橿原市は歴史文化のまちというなかで、ストリートファイターのゲームキャラクターを使ってまちづくりをしているのはなぜなのか、というような色々なご意見をいただいていることは承知しております。ただ、久会長がおっしゃられた通り、京都、奈良市、それから大阪、名古屋あたりは観光客、とりわけインバウンドのお客様は来られていますが、橿原市にはここまで来ていただく知名度はありません。その中で、カプコンの会長が橿原市のご出身ということで包括連携協定を締結させていただきまして、丸3年がたったところです。ストリートファイターは6シリーズ目となり世界では200か国以上、700万本以上売れており、もちろん日本国内でも人気のゲームではありますが、かなりインバウンド、外国人の方に人気のゲームとなっています。SNSを通して、銅像であったり、eスポーツであったり、発信すると、通常の橿原市のSNS閲覧数が100～200件、多くて1000件くらいですが、それとは桁が2つほど違う閲覧数になります。そういうことを通じて、橿原市をPRしていくという、少し見え方の違うシティセールス、観光客の誘致として取り組んでいます。

また、世界遺産登録に関しましては、今現状の担当課の名称が世界遺産登録推進課ということになっています。おかげさまで登録となりましたので、これから事務分掌を整理しながら、まず課の名称を変更することも考慮しつつ、その中で世界遺産をどのように活用していくのかを踏まえながら、観光客の方に色々と知っていただき、市民の方には世界遺産、宝物があると認識してもらい、組織的に進めていきたいと考えております。

久会長

先ほどの、ストリートファイターをうまく活用していくというお話で、これは世界遺産の藤原宮跡とギャップがあると考えています。ストリートファイターはバーチャルの世界の話で、橿原まで来てリアルに観光する話とは少し距離があり、たまたま会長の出身地というだけでは、なかなか橿原に来て観光するとはなりません。バーチャルとリアルをどう繋いでいくか、戦略がもっとあればと思います。その逆パターンが藤原宮跡で、リアルなものがありません。それを AR・VR というバーチャルで観ていただけるようにしよう、となりますが、ここもリアルな空間とバーチャルな映像が、どう上手くマッチしていくか、逆の意味での工夫が必要だと思っています。同じバーチャルとリアルの融合という戦略が必要という課題について、色々とお考えいただければと思います。

ちなみに今、平城宮跡は大極殿等復元をしておりますが、柱跡しか見つかっていないのに建物の形を想像して復元をすることが、ユネスコでも問題になっています。藤原宮跡は現在何も建っていませんが、安易に何かを建てるのは、ユネスコからお叱りを受けることになりますので、そういった場所ではバーチャルを上手く活用していただくといいと思っております

はい、他にいかがでしょうか。前川委員、どうぞ。

前川委員

今回総合戦略の交付金についての評価の中に、テーマとして、たのしく健康にウォーカブルなまちづくり事業というところがありますが、この目標・命題に対しての事業が本質的に異なっているように感じました。これを振り分けた担当課によって結果が変わるかと思うのですが、この事業について振り分けるとしたら、どの担当課に振り分けるのが最適なのか、どのようなお考えかお聞かせいただけますでしょうか。

事務局

資料 1-1 の P.126 ページのたのしく健康にウォーカブルなまちづくり事業のお話だと思います。担当課としては、事業の目的が記載してある通りであることから、スポーツ推進課と企画政策課で実施しております。

前川委員

ありがとうございます。主な事業として、ここに記載してある部分は当然かと思いますが、大事なところといえば、道がウォーカブルになっていないと歩けないですし、健康づくりという視点でどういう歩き方をどのような形で市民に実践してもらうか考えるのは、スポーツの分野よりも健康づくり、健康増進の分野に重きが当たっていると思うので振り分ける課が違うのではないかと思います。いかがでしょうか。

久会長

前川委員のご指摘は、タイトルと事業の中身がずれていないかということで、タイトルがウォーカブルなまちづくりなので、歩いてもらうためには道路整備が重要なんだけど、道路整備の担当課が入っていない、というご指摘かと思いました。

事務局

ご指摘にお答えいたします。こちらにつきましては、新しい地方経済・生活環境創生交付金の事業となっております。ここにはソフト事業を中心に書いており、このソフト事業の後に、ハード事業としてスポーツ施設の整備、例えばプールや体育館、道路づくりも含めて交付金の獲得を目指しております。今後、道路整備等につきましては、スポーツ推進課だけではなく道路の整備担当課と協力しながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

前川委員

ありがとうございます。計画を立てるときに、単一部署で計画をしていくと、偏った方向に進んでしまうと思いますので、交付金事業が出てきたときには、単一の部署だけでなく、どう実現していくかで考えるほうが現実的ですし、部署をまたいで横断的な発想が必要になると思います。ウォーカブルな道を作るために、まず専門家と事業を進めていくが、そこを歩くのは市民なので、どういった路面が歩きやすいか、どういった歩き方をすればいいかというような視点で考えていくには、健康増進課の意見もスポーツ推進課の意見も必要になるので、連携をした部署からの提案としてテーマに沿った形が取れていくのが市民にとってはいい方向だと思います。この記載だけでなく、この先に何があるのかということとはわからない状態で評価しておりましたので、少し違和感がありました。

久会長

ありがとうございました。この3年間の話でいうと、私は県立医大周辺のまちづくりに関して、警察、県、市と一緒に考えさせていただいております。医大の大学部分は移転をされて、病院、大学に関するところに余裕ができるので、その再整備を含めて新駅ができるということになります。いろいろ計画を作っていましたが、我々の計画を通り越して県がアリーナを作るという話がきましたので、これからアリーナができることを含めて進んでいきます。新駅ができるということで、駅前だけを考えるのではなく、大和八木駅からも歩けない距離ではないので、今井町を見学した足で大和八木駅まで行ってもらうとか、うまく繋いでいけたらいいと思います。そのようにルート整備なんかもやっていただくと、駅周辺整備だけではない整備が進むのではないのでしょうか。それをさらに伸ばしていけば、橿原神宮から新駅、今井町と大和八木駅というルートができるわけですから、そういう歴史を楽しめる散策ルートみたいなものを、これを機会に作ってはどうか、ということも申し上げました。

おそらく前川委員がおっしゃるお話は、簡易的にでも歩ける道を作っていくことがないと、ウォーカブルなまちづくりにならないということだと思いますので、観光スポットを繋いでいとか、様々なところを繋いでいくという観点で、うまく交付金も使いながら道路整備を絡めていくことも、案の一つかなと思いますので、参考に進めていただければ、と思います。

佐伯委員

総論的な話で政策評価のサイクルですが、効果のあった順に施策を打った側の人々が資料を作り、第三者である我々が見てそれに対してコメントをするというサイクルを回すということは一長一短あると思います。例えば網羅的に政策が立てられているのかをチェックするプロセスとして、これは不十分だと考えます。

逆の観点から言いますと、市はこういうことを大事に考えて、特にこういうことを頑張っていますということを発表して、それを我々が評価して、市民に実感していただく、というサイクルを成立させるものが、この一番大事なことをやっている目的になる。そうすると、例えば目指す姿を作るときから、何をアピールしたいかを担当課が逆算して作っていないと、うまくいかないと思います。企画政策課の方は担当課との間に立って、立案と評価の時に毎回その間に入っておられるので分かっていて、もちろん我々評価側にもそれを共有してもらって、サイクルが回っていると思いますが、各細かい分野の評価においてもまだ網羅的な報告が来ているということは、それは浸透していないのではないかと不安になる場面なわけです。だから、これは網羅的にできているかどうかのチェックではなく、橿原市としては特にここを大事に思っているから政策としてやっていくという場面であるという共通認識がとても大事で、それを市民の方に実感していただくためのプロセスであるという共通認識が必要だと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

ご質疑にお答えいたします。佐伯委員のおっしゃる通り、こちらは目指す姿に向けての施策の評価を記載しております。よって全施策を網羅しているわけではなく、あくまでも目指す姿に向けての施策

を記入したものになります。ですので、ここに書いてないから、施策として実施してないというわけではなくて、目指す姿に対しての施策を書いております。こちらの周知につきましては、施策評価を実施して5年目になりますので、各担当課にも庁内メールや、いろんな研修会等で周知しておりますが、まだ浸透していない部分も多々ございます。今後それらを含めて先ほどご審議いただきました、シートの変更を踏まえ、各担当課に周知というか、こういうシートの書き方・考え方というのを理解していただきやすいように取り組んでまいりたいと思いますので、またよろしく願いいたします。

久会長

佐伯委員のお話も別の角度から見ると、樫原市の中で、事務事業評価は行っているの、事業レベルでは、きちんと評価や、効果と課題が書いてあります。一方、施策単位で見たときには、どのような効果課題が見られるかを書き分けていただくと、施策評価シートにすべて書く必要がなくなるわけです。その事務事業評価と施策評価の仕分けを、その担当課だけでなく、評価をする方あるいはこれを見る市民の方にも、共有しておかないといけない、というご指摘かと思っておりますので、報告書にもその旨を書いておく、さらに来年度以降もそういうのをちゃんと共有しておかないといけないと思います。

そのあたりは、公平を旨とする市役所の職員は、なかなか難しいお願いですが、いろいろ悩んでいただければというふうに思います。はい、増田委員、どうぞ。

増田委員

藤原宮跡は、世界遺産登録を千載一遇の機会としつつ、施策評価は資料1-1のP.52～53として書かれていて、世界遺産推進課に関しては機構改革等もあるとのこと。世界遺産登録を契機として、樫原市がどういったように変わっていくのか、観光・交通・建設とか、そういうのを網羅していく形になると思うのですが、もう少し大きな組織というか、かなり大きな課というか、グレードアップした人数的にも資質的にも大きな課になっていくのが必要かと思えます。

久会長

来年以降、世界遺産活用を重点的にやろう、予算も重点的につけよう、ということまでできるのかどうか、というところもありますが、せっかくチャンスが訪れたわけですから、うまく活用してほしいと思います。また、先ほど前川委員がおっしゃられたウォークアブルなまちづくりという点でも、道づくり・健康づくりにも繋がるシナリオが描けると思いますので、単なる道路整備ではなくて、世界遺産を活用した道路整備、ひいては、健康づくりにも繋がるというストーリーがうまく描ければ、すべての項目が繋がるのではないかと期待しております。他、いかがでしょうか。

ご出席されている原委員は明日香村の活性化にも取り組まれています、樫原市と明日香村では、世界遺産に向けての力の入れ方は、明日香村の方が力を入れているな、と思います。それは、村民の熱い願望でもあったと思います。明日香村の村民は、そもそも高松家古墳の壁画の発掘以前から、歴史遺産を使いながら村づくりができないか、と考えてきた長い歴史の延長上で、今、世界遺産があるかと思えます。一方、樫原市は中南和の歴史の中心地でしたので、そこにあって当たり前だという感覚が明日香村に比べると強いとも感じており、世界遺産登録について、千載一遇だと思う熱量が低いのかな、と私は推測しています。せっかくの機会なので、もっと市一体となって、頑張っ盛り上げていただきたいと期待しています。

はい、中村委員どうぞ。

中村委員

昨日のニュースで「飛鳥・藤原宮都世界遺産登録から1週間、観光客でにぎわう」、というのが出ていました。実はこれ明日香村のことだけです。商工会議所の職員が明日香に行ったところ、観光客が殺到してとんでもない状態でしたが、藤原宮跡は閑散としていました。トイレも見に行きましたが、仮設トイレであって、便をした跡が見えるし、便座は座ったらやけどしそうなぐらい熱いです。これは、きちんとした施設を建てるべきで、そうしようと思うと1年2年かかります。また藤原京資料室をガイダンス

施設として作ろうと思うと、5 年はかかります。そうなれば、現状は見るところもないし、綺麗なトイレもサービス施設もないとなれば、観光客が来ない気がしますし、橿原市は懺悔しないといけなくなります。だから、魅力創造部は速度感をもってきっちり進めてほしいと伝えていただきたいと思います。以上です。

久会長

はい、原委員、どうぞ。

原委員

明日香村は、約 50 年前から明日香法という規制により開発ができない中で、基本的に村民は農業と観光、もしくはサラリーマンとして働いています。いろいろと制限がある中で、今になって文化財を保存してきてよかったとここ 20 年は感じております。移住者も増え、カフェだったり雑貨屋だったりも開かれ、世界遺産登録が 20 年越しで実り喜んでいるわけです。ただ、明日香村には駐車場が作れないという大きな課題があります。そこで藤原宮跡も構成資産と一緒に登録されましたので、うまく連動して観光客も藤原宮跡と明日香とぐるぐる回れるような、大きなそういう流れをいかに作るかを三市村が真剣にやっていくべきだと私個人としては感じているところですので、よろしくお願いしたいと思っています。

久会長

はい、ありがとうございます。もうすでに奈良市は、観光シーズンには新大宮のあたりで車を止めて、そこからバスで入るという仕組みがあります。そのようなモデルがありますので、明日香村と橿原市が連携しながら、いわゆる環境にも優しい観光ルートを考えていただくと、それ自体も売りになると思います。それから前川委員がおっしゃっていた、歩ける範囲を歩いてもらうというような、面白いパッケージングも考えていただくといいと思います。他、いかがでしょうか。

本日は様々なご意見を賜りました。これからの施策に生かしていただければと思います。それでは、第 21 回総合政策審議会を終了とさせていただきます。いろいろとご協力いただきありがとうございました。事務局に進行をお返しします。

事務局

久会長ありがとうございました。以上で、予定していた案件はすべて終了いたしました。皆様、長時間にわたるご審議、ありがとうございました。5 月から、全体会 2 回と評価部会の開催にご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、今回で令和 8 年度の橿原市総合政策審議会は最後となります。委員の皆様の任期は令和 9 年 3 月 31 日までとなっております。令和 9 年度以降の委員につきましては、事務局で検討してまいります。なお、令和 8 年 7 月 1 日より、橿原市附属機関等の設置及び運営に関する要綱に変更が生じ、橿原市総合政策審議会も委員の選任等に新たな基準が適用されることになりました。その中で、委員の任期は 5 期又は 10 年まで、審議会の重複は 5 機関までとなっております。また、スケジュールにつきましても、先ほどご説明いたしました、こちらが現状は案ですので、よろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の総合政策審議会を閉会いたします。皆様、ありがとうございました。

(以上)